

「未来へつなぐために」

(松島町立松島中学校)

私が住む町。日本三景の一つ。宮城県松島町。海が広がり、国宝である建造物があり、観光地として有名な町の一つだ。

中学三年生に進級した春、テレビで「宿泊税」という言葉を知った。松島町にもいくつか大きな旅館があるため、「宿泊税」の目的や使われ方について、もっと知りたいと思いインターネットで調べることにした。すると、今は九つの自治体で導入されていると知った。また、約30地域でも導入が検討されていることが分かった。ここで、宮城県では、導入にあたって賛否両論が分かれていることが気になった。

さらに、宿泊税の導入による利点と懸念されている点を調べると、それぞれ二つ以上の理由があった。

まず、利点の一つ目は、観光客の増加により旅行者消費額が拡大することで地域の雇用創出につながり、結果的に定出人口の増加につながるということ。

二つ目は、観光振興によってホテルや観光施設の誘致などが行われ、さらに企業誘致にもつながれば、住民税や固定資産税などの自主財源が増加するということ。

次に、懸念されている点の一つ目は、消費税、入湯税に加えて三重課税になること。

二つ目は、コロナ禍後の宿泊数が回復していない施設がまだ多いこと。

三つ目は、コロナ禍で借り入れが増えた施設の経営

悪化になるということ。

このように、利点では、地域経済の活性化につながるということ、懸念されている点では、宿泊施設によっては不公平となったり、受益者の負担が述べられていた。

私が小学生の頃、校庭で遊んでいると、よくフェンス越しに見える海外からの観光客の姿が印象的で、平日でも国内外からの観光客で賑わっている景色を幼い頃から見てきた。松島町は2022年4月1日に過疎地域に指定され、人口は1980年代の17,568人をピークに、今は約14,000人にまで減少している。宿泊税が導入されなければ、町の人口減少が加速し、観光客の誘致や環境整備が厳しくなるかもしれない。もしも、財源不足によって松島町の観光客が

減ってしまうと思うと、これまでの景色に彩りが減り、寂しい気持ちになる。

税についての作文を通して、税金は互いに支え合っ
ていくためのものだと学んだ。これから、松島の景観
を未来に残していくために、税の知識を深めるととも
に、宿泊税の導入に対する賛成意見を支持していきたい。
い。